

平成 28 年度 箕面国有林におけるニホンジカの生息状況外モニタリング調査委託報告書 (概要版)

平成 29 年 3 月 株式会社野生動物保護管理事務所

1. 誘引効果の検証及び効果的かつ効率的な捕獲技術の検証

首用くくりわなおよび箱わなについて、センサーカメラを用いてシカの誘引状況および行動特性の調査を実施した。なお、平成 26 年度の足用くくりわなについての結果を踏まえて考察した。

結果 ①首用くくりわな

- ・ 10 地点中 6 地点で捕獲が成功した。
- ・ 捕獲後にバケツ内の採食が確認されたのは 1 地点のみで、捕獲の 18 日後であった。

②箱わな

- ・ 4 地点中 1 地点で捕獲が成功した。
- ・ 捕獲に成功した箱わなは、誘引餌にヘイキューブを使用していた。
- ・ 米ぬかを誘引餌に使用していた箱わなでは、シカ以外の動物が多数撮影された。

考察

- ・ CPUE①から、最も捕獲効率の高かったのは足用くくりわなで、低いのは箱わなであった。
- ・ 首用くくりわなによる捕獲はほとんどがメスであるのに対して、足用くくりわなはオスが多かった。
- ・ 首用くくりわなと比較して、箱わなではわな内に侵入した成獣オスの撮影割合は高くなった。
- ・ シカ以外の動物について、箱わなの方が首用くくりわなよりも撮影頻度が高かった。
- ・ 誘引餌として米ぬかを使用した場合、ヘイキューブよりもシカ以外の多くの動物を誘引した。

表 1 わな種別捕獲効率 (平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日)

わな種類	設置日数	稼働日数	捕獲数			CPUE① 合計捕獲数 /設置日数	CPUE② 合計捕獲数 /稼働日数
			オス	メス	合計		
首用くくりわな	1,393	241	1	7	8	0.0057	0.0332
足用くくりわな	1,564	1,564	9	3	12	0.0077	0.0077
箱わな	484	-	0	1	1	0.0021	-

2. GPS テレメトリー調査

箕面国有林内に生息するシカに GPS 首輪を装着し、行動特性を把握することとした。なお、平成 27 年度事業において装着した個体のデータも合わせて解析した。

結果

- ・ 新たに 2 頭のシカに GPS 首輪を装着した。
- ・ GPS 装着個体は箕面国有林と池田市を往来しており、池田市に滞在していることが多かった。
- ・ 100m メッシュ内の利用回数を算出すると、同地点を 150 回以上利用している場所があった。
- ・ GPS 装着個体は落葉広葉樹林を好んでいたが、うち 1 頭は池田市の農耕地を利用していた。
- ・ 農耕地を利用する個体について、昼よりも夜の方が池田市の農耕地側に進出していた。
- ・ 非狩猟期の利用地点と比較すると、狩猟期には箕面国有林内の利用が増加した。

考察

- ・ 落葉広葉樹林を好んでおり、同じ場所を何度も利用していることから、生態系保全・土壌流出の観点から落葉広葉樹林の対策が急務である。
- ・ 箕面国有林と池田市を往来していたことから、隣接市町との協力体制の構築が不可欠である。
- ・ 狩猟期に箕面国有林内の利用が増加したことから、特に狩猟期において箕面国有林内での捕獲を推進することにより、効率的な捕獲が可能となる。
- ・ ただし、道路から離れた場所の利用が多く、森林内での捕獲が課題である。

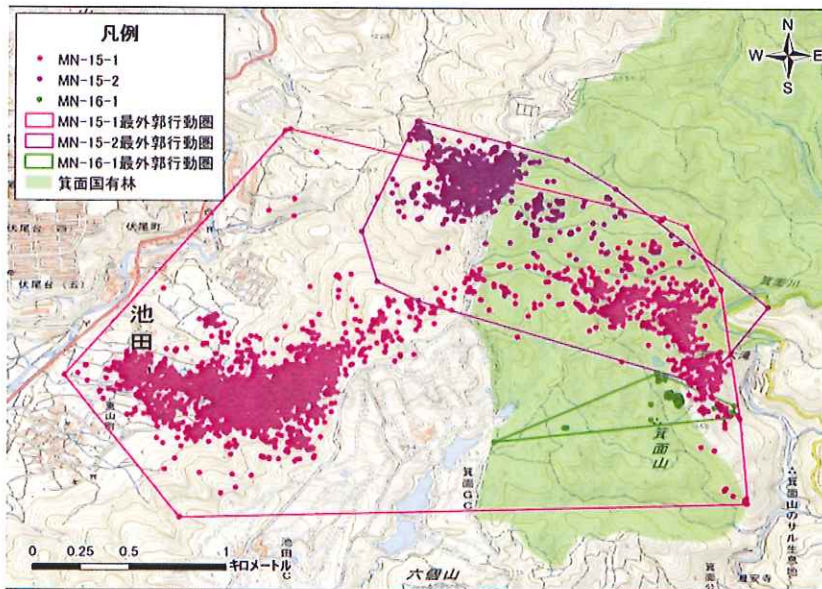


図1 GPS装着個体の利用地点と行動圏

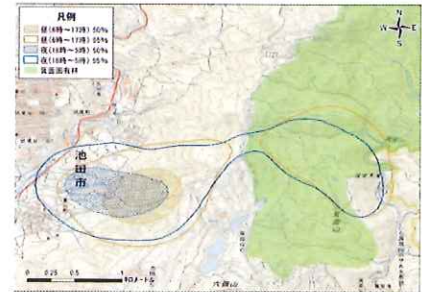


図2 昼と夜の行動圏

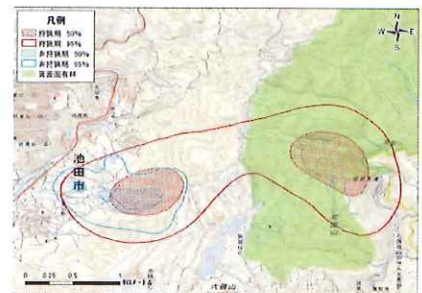


図3 狩猟期と非狩猟期の行動圏

3. 関係機関が行っている調査状況の情報収集

関係機関が実施している調査内容について、聞き取り調査を実施した。

表2 関係団体が実施した調査内容一覧

年	資料名	執筆者	調査目的	調査項目	調査対象地域
1977年	箕面市の植物目録	梅原 徹	植物目録の作成	種別の生育確認	箕面市全域
1977年	箕面川ダム 自然環境の保全と回復に関する調査研究	大阪府	動植物の生息状況把握	植物、苔苔類、鳥類、哺乳類、昆虫、魚類、クモ類の生息確認	箕面川ダム周辺
2008年	天然記念物「箕面山サル生息地」の箕面山二ホンザル集団の保護管理調査報告書	箕面山猿保護管理委員会、箕面市教育委員会	シカによる植生への影響把握	シカの食害レベル、食痕の程度	二ホンザル生息地域（箕面国有林箕面川ダム西側地域）
2009年	清水谷におけるシカ採食状況	箕面自然調査会	シカによる植生への影響把握	シカの採食種、環境写真	箕面国有林・清水谷
2010年	箕面の植物	箕面自然調査会	植物目録の作成	種別の生育確認	箕面市全域
2012年	清水谷ネット設置効果について	清水谷をまもる会	対策の効果検証	種別の生育確認、写真による判定、センサーカメラ	清水谷
2014年	二ホンシカによる森林下層植生衰退度の広域分布状況	幸田良介・虎谷卓哉・辻野智之	シカによる植生への影響把握	下層植生衰退度調査、銃撃シカ目撃効率調査	北摂地域
2015年	二ホンシカによるスギ・ヒノキ人工林剥皮害の広域分布状況	幸田良介・小林徹哉・辻野智之・石原委可	人工林の剥皮害の状況把握	林分ごとの剥皮害割合	北摂地域
2016年	オガ原林道・保全ネットの植生調査結果	箕面自然調査会	対策の効果検証	植生保護柵内の植物の生育確認	オガ原
2016年	天然記念物「箕面山サル生息地」の箕面山二ホンザル集団の保護管理調査報告書	箕面山猿保護管理委員会	シカによる植生への影響把握	シカの食害レベル、食痕の程度	二ホンザル生息地域（箕面国有林箕面川ダム周辺地域）
2016年	箕面山防鹿ネット（パッチディフェンス）設置半年後の状況	明治の森箕面国定公園保護管理運営協議会	対策の効果検証	植生保護柵内の植物の生育確認	箕面市全域

4. 情報交換会での報告

箕面森林ふれあい推進センターが実施している調査内容について、関係者に報告を行った。